

問1	中部地方の各県の工業出荷額の内訳をまとめた統計において、輸送用機械の割合が極めて高い愛知県や静岡県に対し、食料品、化学工業、電子部品・デバイス工業などがバランスよく含まれていることが特徴である県はどこですか。 <small>（2024年 静岡県公立入試 類似）</small>			
	1. 富山県	2. 福井県	3. 石川県	4. 長野県
問2	日本の地形の特色について述べた次の文のうち、中部地方に位置する「木曽山脈」の説明として最も適切なものを選びなさい。 <small>（2023年 埼玉県公立入試 類似）</small>			
	1. 中国地方の中央部を東西に走り、山陰と山陽の気候を分ける山脈。	2. 新潟県と群馬県の県境に位置し、季節風を遮ることで日本海側に大雪をもたらす山脈。	3. 東北地方の中央を南北に走る、日本で最も長い距離を持つ山脈。	4. 飛騨山脈と赤石山脈の間に位置し、日本アルプスの一角をなす標高の高い山脈。
問3	中部地方の伝統産業と近現代の工業化に関する記述のうち、多治見市の産業的特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 <small>（2019年 千葉県公立入試 類似）</small>			
	1. 良質な石灰石の産地であることを背景に、セメント工業とそれを用いた住宅建材の生産が全国1位である。	2. 伝統的な陶磁器の製造技術を高度な先端技術へと転換し、半導体部品などの製造に活かしている。	3. 内陸部の気候を利用して養蚕業が発展し、現在ではその技術を活かした世界最大の化学繊維工業地帯となった。	4. 豊富な木材資源と水力を利用し、古くから続く和紙の技術を大型の製紙工場でのパルプ製造へ発展させた。
問4	中部地方の4つの県（新潟県、富山県、長野県、愛知県）を比較した統計において、面積が約1万3562平方キロメートルと4県の中で最も広く、かつ果実の産出額が約557億円に達し、他県（約22億円～207億円）と比べて際立って高い数値を示している県はどこか、次の中から選びなさい。 <small>（2019年 和歌山県公立入試 類似）</small>			
	1. 長野県	2. 富山県	3. 愛知県	4. 新潟県
問5	三重県は中京工業地帯の一角を担い、年間の製造品出荷額等の合計が10兆円を超える全国有数の工業県です。この県の工業出荷額の内訳において、約24.6%を占めて最大となっている産業はどれですか。 <small>（2017年 愛知県公立入試 類似）</small>			
	1. 印刷業	2. 輸送用機械工業	3. 化学工業	4. 食料品工業
問6	日本の気候区分のうち、1月の最低気温が2度前後まで下がり、冬の降水量が夏の約2.6倍に達するような、冬に降水が集中する特徴を持つ気候帯はどれですか。 <small>（2023年 沖縄県公立入試 類似）</small>			
	1. 中央高地の気候	2. 瀬戸内の気候	3. 太平洋側の気候	4. 日本海側の気候
問7	日本海側に位置するある県について述べた資料において、「冬季は季節風の影響で豪雪地帯となること」、「国内生産の約9割、世界生産でも約2割のシェアを占める眼鏡フレームの産地であること」、「県南部の若狭湾に複雑に入り組んだ海岸線が見られること」という3つの特徴が挙げられています。この県はどこですか。 <small>（2023年 長崎県公立入試 類似）</small>			
	1. 福井県	2. 新潟県	3. 石川県	4. 富山県
問8	佐渡島では、鉱山跡の観光活用に加え、農業の「第6次産業化」による地域活性化が進められています。この「第6次産業化」の内容を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 <small>（2019年 東京都公立入試 類似）</small>			
	1. 都市部への人口流出を防ぐため、近隣の都市へ通勤する住民に対して、交通費や住宅費を自治体が全額補助する制度を導入すること。	2. 農地を工業団地として整備し、最先端の宇宙開発拠点や精密機械工場を誘致して、地域の雇用を創出すること。	3. 農業者が生産（第1次産業）だけでなく、食品加工（第2次産業）や流通・販売（第3次産業）まで一体的に取り組み、付加価値を高めること。	4. 食料自給率を向上させるため、全ての農地を国が管理し、生産された農産物をすべて海外へ輸出する仕組みを作ること。
問9	新潟県上越市のように、12月や1月の降水量が月間400mm近くに達し、夏場の降水量を大きく上回る地域で見られる気候のメカニズムとして、最も適切なものはどれですか。 <small>（2023年 沖縄県公立入試 類似）</small>			
	1. 一年を通して温暖な黒潮の影響を受け、冬でも発達した低気圧が頻繁に通過するため。	2. 夏に南東の季節風が太平洋から湿った空気を運び、脊梁山脈によって上昇気流が発生するため。	3. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した風が、山脈を越えてフェーン現象を引き起こすため。	4. 冬に湿った北西の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかって雪を降らせるため。
問10	東京駅を出発し、群馬県の高崎駅や長野県の軽井沢駅などを経由して、石川県の金沢駅までを結ぶ北陸新幹線が通過する県として適切なものはどれですか。 <small>（2022年 鳥根県公立入試 類似）</small>			
	1. 岐阜県	2. 新潟県	3. 山梨県	4. 福島県
問11	飛騨・木曽・赤石の3つの山脈は、日本列島の中央部に位置し、標高3000メートルを超える高峰が密集していることから、ある別名で呼ばれることがあります。その名称として適切なものを選びなさい。 <small>（2023年 山形県公立入試 類似）</small>			
	1. 日本の背骨	2. 日本の屋根	3. 日本の防壁	4. 日本の中央分水嶺
問12	中部地方の日本海側に位置する各県の県庁所在地について述べた文として、正しいものはどれか、次の中から選びなさい。 <small>（2024年 和歌山県公立入試 類似）</small>			
	1. 石川県の県庁所在地は新潟市であり、信濃川の河口に位置している。	2. 新潟県の県庁所在地は長野市であり、内陸部に位置している。	3. 石川県の県庁所在地は金沢市であり、県名と都市名が異なっている。	4. 富山県の県庁所在地は岐阜市であり、飛騨山脈の西側に位置している。
問13	静岡県において製紙・パルプ工業が全国有数の規模にまで発達した理由を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 <small>（2023年 三重県公立入試 類似）</small>			
	1. 古くから発達した織物機械の技術を応用し、高度な自動化が進んだため	2. 富士山周辺から得られる豊かな湧水や河川水などの水資源が、製造工程に不可欠だったため	3. 三方ヶ原などの台地において、原料となる木材の植林が大規模に行われたため	4. 海外から輸入した木材チップを加工するために、県内に大規模な製鉄所が隣接していたため

答え合わせ・解説

問1	答え 3 石川県	中部地方の中でも北陸地方に位置する石川県は、特定の産業に特化した中京工業地帯の県とは異なり、電子部品や機械、食料品などがバランスよく生産されているのが特徴です。また、伝統的工芸品から発展した機械工業や、良質な水を活用した食料品製造も盛んに行われています。
問2	答え 4 飛騨山脈と赤石山脈の間に位置し、日本アルプスの一角をなす標高の高い山脈。	木曽山脈は長野県に位置し、西側の飛騨山脈、東側の赤石山脈とともに「日本の屋根」と呼ばれる険しい地形を構成しています。他の選択肢にある奥羽山脈は東北地方、越後山脈は主に新潟県付近、中国山地は中国地方に位置する山脈であり、所在地や地形的特徴が異なります。
問3	答え 2 伝統的な陶磁器の製造技術を高度な先端技術へと転換し、半導体部品などの製造に活かしている。	多治見市などの地域では、伝統産業である陶磁器の製造プロセスにおいて培われた「焼成」や「成形」の技術が、現代のファインセラミックス製造の基盤となっています。ファインセラミックスは耐熱性や電気絶縁性に優れるため、スマートフォンやパソコンなどの電子部品として不可欠な存在となっており、地場産業の強みを先端分野に結びつけた成功例と言えます。
問4	答え 1 長野県	長野県は中部地方で最大の面積を持ち、その多くを山地が占めています。内陸の盆地を中心とした地形は、冷涼な気候や日当たりの良さを生かした果樹栽培に適しており、リンゴやブドウなどの産出額が近隣県に比べて非常に高いのが特徴です。一方、新潟県は米、愛知県は野菜や花の産出額が高いという異なる特徴を持っています。
問5	答え 2 輸送用機械工業	三重県は愛知県などとともに日本最大の工業地帯である中京工業地帯を構成しています。統計上、四日市市の石油化学コンビナートを背景とした化学（12.5%）や石油・石炭製品（7.6%）の割合も高いですが、鈴鹿市などに大規模な工場が集まる自動車関連の「輸送用機械」が全体の約4分の1を占め、最も主要な産業となっています。
問6	答え 4 日本海側の気候	日本海側の気候は、北西の季節風の影響を強く受けるため、12月から1月にかけての降水量（降雪量）が非常に多くなるのが最大の特徴です。提示された統計情報の通り、夏の降水量が150mm程度であるのに対し、冬の降水量が400mmに達する傾向は、太平洋側の「冬に乾燥し晴天が続く」特徴や、瀬戸内の「年間を通じて降水量が少ない」特徴とは明らかに異なります。
問7	答え 1 福井県	北陸地方に位置する福井県は、鯖江市を中心に眼鏡フレームの生産が非常に盛んであり、世界的なシェアを誇る地場産業となっています。また、県南部の若狭湾は山地が沈水してできたリアス海岸として知られ、天然の良港に恵まれていることから、漁業や港湾都市が発達しています。
問8	答え 3 農業者が生産（第1次産業）だけでなく、食品加工（第2次産業）や流通・販売（第3次産業）まで一体的に取り組み、付加価値を高めること。	第6次産業化とは、第1次産業（農業・水産業など）の従事者が、第2次産業（製造・加工）と第3次産業（流通・販売・観光など）を融合させることで、農産物に新たな付加価値を生み出す取り組みです。佐渡島でも、特産品を使った加工品の開発や直売所の運営など、農業を多角化することで地域の所得向上や産業の活性化を図っています。
問9	答え 4 冬に湿った北西の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかって雪を降らせるため。	冬になるとシベリア高気圧から冷たく乾燥した北西の季節風が吹き出します。この風が、暖流である対馬海流が流れる日本海を渡る際に大量の水蒸気を蓄えます。水分を含んだ湿った空気が日本の脊梁山脈にぶつかって上昇することで、日本海側の地域に雪や雨として大量の降水をもたらします。これにより、冬の降水量が夏よりも極めて多い日本海側の気候が形成されます。
問10	答え 2 新潟県	北陸新幹線は、東京から群馬県、長野県を経由した後、新潟県（上越妙高駅など）、富山県を通過して石川県の金沢駅（2022年当時）へと至る路線です。福島県は東北新幹線の沿線であり、山梨県は中央本線の沿線であるため、北陸新幹線のルートには含まれません。
問11	答え 2 日本の屋根	飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つの山脈は、日本のほぼ中央に位置し、家屋の最も高い部分である屋根に例えて「日本の屋根」と呼ばれます。これらの山脈が連なる地域は、日本海側と太平洋側の気候を分ける要因の一つにもなっており、日本の地形を象徴する重要な存在です。
問12	答え 3 石川県の県庁所在地は金沢市であり、県名と都市名が異なっている。	中部地方の北陸三県（石川・富山・福井）のうち、石川県は県名と県庁所在地名が異なる県の一つです。石川県の県庁所在地は金沢市であり、富山県の西側に隣接しています。新潟県の県庁所在地は新潟市、長野県の県庁所在地は長野市、岐阜県の県庁所在地は岐阜市であり、他の選択肢は県名と所在地の組み合わせが誤っています。
問13	答え 2 富士山周辺から得られる豊かな湧水や河川水などの水資源が、製造工程に不可欠だったため	製紙・パルプ工業は「立地要因」として水資源の確保が非常に重要視される産業です。富士山のふもとに位置する富士市周辺は、豊富な地下水や河川水が容易に得られたことから、大規模な工場が集まり、静岡県を代表する産業へと成長しました。